

学校と地域のつながりで育む守小っ子

守山市	活動名：守山小学校地域学校協働本部	守山小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和6年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：11人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

・授業における活動支援

- 2年生 夏野菜の苗植え体験(5月)【総合】
- 3年生 菜の花苗の種付け体験(11月)【総合】
- 4年生 菜種の刈り取り体験(5月)【総合】
菜種収穫(種もみ)体験(5月)【総合】
菜種油搾取実験(6月)【総合】
- 5年生 稲作のオリエンテーション(5月)【総合】
代かき見学(6月)【総合】
田植えの体験(6月)【総合】
- 6年生 ゆめプロジェクト(6月)【総合】



【 5年生田植え体験 】

■ 実施に当たっての工夫

・各事業担当者とボランティアの打合せの持ち方

本校は、多くの学年でお世話になるため、年度初めにあらかじめ日を設定し、その日一日で、面談形式で原則全事業担当者との1回目の打合せをすることで、それぞれが先の見通しを持つように工夫した。

その後は、それぞれの学年が実施時期に合わせて打合せを行った。

・ボランティアとの振り返りの場の設定

年間3回、管理職を含めた学校職員とボランティアが事業の進捗や振り返りを行うことで、学校と地域の願いをすり合わせる場としている。

■ 事業の成果

その道の専門的な知識のある方にご指導いただくことで、児童の学びがより深まった。また、地域の方がボランティアをしてくださることから地域への愛着が深まるとともに、授業以外に出会った際も、地域の一員として児童が関わる機会が増える。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

本活動は、ここ数年にわたり行ってきたため、連携がスムーズに行われるようになってきた。今後は、それぞれの取組がどうであったかという検証だけでなく、目の前の児童にとってどういった学び等が必要かについて地域の方のニーズも踏まえながら一体となって考えることが必要だと考える。



【 4年生菜種取り 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(教頭)

「豊かな心と生きる力を持ち、自ら考え、やりぬく小津っ子」の成長を支える小津学区地域学校協働活動

守山市	活動名：小津小学校地域学校協働本部	小津小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和6年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：30人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他(小津会館)

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・2年生の町探検、4年生の校外学習引率、高学年の家庭科学習などに参画していただいた。また、お話会や読み聞かせを全校対象に定期的に開催している。
- ・学区の自治会長を、創立150周年記念事業や学習公開・給食試食会に招待し、学校の様子を知っていただくと同時に、育てたい子ども像や地域学校協働活動の概要について共有する場を設定した。



【 お話会・読み聞かせ 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・子どもたちが主体的に活動できるよう、地域の方や保護者の方にお話会や読み聞かせを担当していただき、実施学級を順番に変えながら開催するようにしている。
- ・学区の自治会長を招き、校舎案内をしながら学習公開および給食の試食を実施した。あわせて、本校の教育方針、育てたい子ども像、地域学校協働活動の概要について共有する場を設定した。開催にあたって、同じ学区にある小津会館や守山南中学校の担当者と事前の打合せを行った。



【 自治会長 学校訪問 】

■ 事業の成果

- ・小津ボランティア「おづお話会」や保護者の方による読み聞かせは、紙芝居、絵本の読み聞かせ、パネルシアターなど学年の発達に合わせた内容のものを選んで実施いただくことで、子どもたちはお話の世界にすっかり引き込まれ、豊かな心を育てることができている。
- ・ふだん来校いただく機会のない自治会長に、今年度は多くの機会にお越しいただき、学校の様子や子どもたちの姿などを見ていただくことができた。また、校長から育てたい子ども像について、地域学校協働活動の担当者から活動の概要について説明することもできた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・日々の忙しさに追われ、活動実施前の打合せ等をもつ時間が限られる。直接会うことができなくても、担当者などが間に入りスムーズに活動できるようより一層努めたい。
- ・小津会館と学校が連携を取り、会館で行われている「各種教室」を学校内で開催するなどし、協力者の募集につなげていきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(地域連携担当教職員)

地域とのつながりで育つ玉津の子

守山市	活動名：玉津小学校地域学校協働本部	玉津小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:令和6年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:3人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・特別支援学級:学習用畑での野菜の栽培
サツマイモ収穫
スナップエンドウ栽培
- ・5年生:田んぼ体験、家庭科調理実習
泥んこ体験、田植え(5月)
稲刈り(9月)
調理実習(11月)



【 野菜の世話(間引き) 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・玉津公民館をとおり、地域にチラシを回覧し、支援ボランティアを募集してもらった。
- ・事前の打合せでねらいを説明し、目標をもって活動を行うことができた。
- ・以前から米作りの指導を受けているボランティアに専業農家の方を紹介してもらい、米作りの工夫や苦勞を直に聞くことができたようにした。
- ・調理実習で、自分たちで育てた米と別品種をそれぞれ炊いて、味の違いを食べ比べられるようにした。

■ 事業の成果

- ・これまで学習の支援に来てくださっていた地域の方は、多くは1回限りの活動であったが、米や野菜の栽培を通して、繰り返し学校に来ていただくことができ、学校や児童の様子をよく知っていただくことができた。児童も、これまで以上に地域の方に親しみを持てるようになった。
- ・子どもの直の反応から、ボランティアもやりがいを感じてくださることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

地域の方から学ぶことができるのは、子どもたちにとって大変効果があり、人員不足の学校にとっても大きな支えとなる。事業の継続のために、より多くのボランティアとつながっていくことが重要となる。地域に豊富な人脈をもつ公民館職員(地域学校協働活動推進員)と連携することで、人材の確保に努めていきたい。



【 稲刈り 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(教頭)

地域と学校が一体となって育てる河西っ子

守山市	活動名：河西小学校地域学校協働本部	河西小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和6年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：1人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・1年 生活科「イモの苗植え補助」
- ・2年 算数科「かけ算 九九チェック」
- ・3年 社会科「町探検講師」
- ・4年 社会科「野洲川フィールドワーク講師」
- ・5年 総合「55交流(イモの苗植えや収穫等お世話)」
- ・6年 国語科「特別書道教室講師」

■ 実施に当たっての工夫

- ・自治会長に事業のねらいを説明し、協力を依頼した。
- ・これまで築いてきた地域との関係性や取組をもとに、本事業のねらいや目的に照らし合わせ再構築した。
- ・公民館担当者(地域学校協働活動推進員)と地域連携担当者が気軽に話せる関係性や機会を大切に、実践できる環境づくりを心掛けた。



【 4年生の学習の様子 】

■ 事業の成果

- ・これまでの取組をもとに多くの場面で地域の方が学校における教育活動にご参加いただいた。
- ・児童が地域の歴史等を地域の方から聞くことで、過去の出来事を身近に捉えたり、地域に親しみを感じたりして学習意欲が高まった。
- ・自治会長等が子どもと関わってくださったことで、子どもの実態を知ってくださるきっかけとなった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・「本の読み聞かせ」、「掃除」、「休み時間における子どもとの見守り」等、日常的な取組を今後仕組んでいきたい。
- ・地域の方が気軽に学校に足を運び、子どもや教員と過ごすことで、「地域と学校が一体となって地域の子どもの育てる」という地域学校協働活動の真のねらいが現実のものとなるよう取り組んでいきたい。
- ・河西公民館とさらに連携を深め、会館を利用される方等、様々な来館者の方に個別に声をかけたりピラを直接配ったりするなどより積極的に子ども応援団の募集を進めていきたい。



【 1年生の学習の様子 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(地域連携担当教職員)

速野の子どもたちのために、できる人が、できることを、できる範囲で

守山市	活動名：速野小学校地域学校協働本部	速野小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和5年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：10人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 ■学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ **事業を考案する主体(該当するすべてに■印)**

■学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ **地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)**

- ・1年生/生活科 サツマイモの苗植えから収穫、試食会までのサポート
- ・3年生/総合 ハマヒルガオ保存会の方々の講話
- ・4年生/社会科 旧野洲川の講話
- ・5年生/社会科 田んぼの子事業のサポート
- ・5年生/家庭科 ミシンのサポート
- ・愛校作業(主に運動場の除草や草木の整備)
- ・創立150周年記念事業



【 サツマイモの苗の植え方説明 】

■ **実施に当たっての工夫**

- ・実施時期の連絡調整や内容についての打合せを丁寧に行った。
 - ・地域の方と児童とのやりとりが生まれる場面を設けた。
- 例：子どもたちから質問したり感想やお礼の言葉を伝えたりする 等

■ **事業の成果**

- ・ご協力くださった地域の方と子どもたちや教職員の間により関係ができた。
- ・地域の方から「次は、〇〇をしてはどうか。」と前向きなご意見をいただいた。
- ・活動や行事以外でも、児童が地域の方に親しみを込めて話しかけるようになった。



【 地域の方とともに稲刈り 】

■ **事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望**

課題

- ・地域の方との連絡調整のため、それぞれの方と電話でやりとりをすることが多かったため、地域担当職員に一定の負担があった。
- ・ご協力くださる地域の方の輪がまだ小さいため、同じ方に協力依頼をすることがあった。もっと人数があると協力し合えることも見込める。
- ・地域の方との協働活動をもていない学年があった。今年度は第2学年第6学年

今後の工夫や展望

- ・学校に協力したいと思う方を募り、その方々と SNS のグループを作成する。それを通じてお互いに容易に連絡を取り合えるようにする。
- ・予め了解をいただき、形式的な依頼文、お礼状などについても、SNS を通じてお渡しできるようにする。
- ・6年総合 キャリア教育におけるゲストティーチャーとして、地域の方とつながる。

■ **その他(学校運営協議会との協働等)**

- ・現在は、学校運営協議会が開催されていないが、地域の方々の支援の輪が広がれば、会を開いて、より学校と地域の方々がそれぞれの考えや思いを交流できるようにしていきたい。

■ **協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)**

■校長 教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(公民館地域連携コーディネーター)

報告書記入者(地域連携担当教職員)

地域への愛着を深める ～きもちのよいあいさつで、地域の人とのつながりを～

守山市	活動名：中洲小学校地域学校協働本部	中洲小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和6年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：5人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 ■学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

・学校の「あいさつスローガン」と児童から募集した「あいさつを広めるデザイン」をうちわの両面に印刷した「あいさつうちわ」を製作。地域でのあいさつ運動や登下校の見守り活動に協力いただいている方などに配付し、11月1日の「心と心をつなぐあいさつ運動」を起点に、学校と地域であいさつ運動を展開した。



■ 実施に当たっての工夫

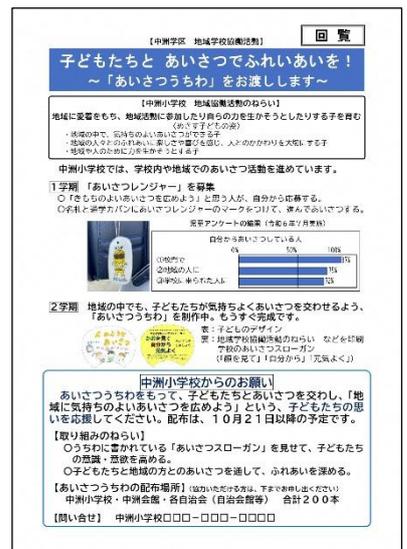
・事業推進のスケジュールと学校と会館の担当者との役割分担の明確化
 夏季休業中に本事業に係るスケジュールと役割分担を定め、情報を共有しながら本事業を推進した。

・地域・保護者に向けた地域学校協働活動のPR

1学期末の学校評価児童アンケートで、あいさつに関する内容をより詳細に尋ね、事業推進後と比較できるようにした。
 本事業の背景(児童の様子)やねらい、学校の取り組みなどをA4用紙1枚にまとめたチラシを地域に回覧した。
 あいさつうちわの裏面に、地域学校協働活動の今年度のねらいも記載した。
 11月の中洲学区民のつどいで、地域学校協働活動の取り組み紹介をエンドレスで放映し、上記のあいさつ運動のチラシとあいさつうちわを設置し、希望者に持ち帰っていただいた。

・地域からの参加者数増加をねらった事業推進

11月の心と心をつなぐあいさつ運動に向けて、スケジュールを設定した。
 区内自治会長に、児童が応募したデザインの審査や各町でのうちわ配布を依頼し、事業推進に協力いただいた。
 会館で会議等を開催される際に、会館職員や本校管理職が、本事業を説明し協力を求めたり、制作したうちわを配付したりした。



■ 事業の成果

・年度当初に年間の大まかな計画を立案することで、見通しをもって活動展開が図れた。
 ・学校と会館、学校と各自治会長の関係性がより深まり、気軽に相談できることが増えた。
 ・児童アンケートのあいさつに関する項目で、地域の方に積極的にあいさつする子が増えた。また、来校者へのあいさつもより積極的になりつつあり、来校者から評価いただいたこともあった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

・今年度は、地域の方に学校に来ていただける機会を増やしながら、学校や児童の様子をより知っていただくとしたが、地域参観等のイベントに参加される地域の方はごく少数であった。今後は、体育館などで学校が使用しない時間帯に地域に開放するなど、日常から学校に気軽にきていただく中で、協働活動につながる関係の構築や児童の実態の共有などを深める工夫を検討していきたい。
 ・これまでから学校の活動に協力していただける方は比較的多いが、具体的に募集すると応募は少ない。学校から気軽に声をかけやすいボランティア登録者を拡大しながら、事業推進の輪を広げていきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(校長)

地域とよしみっ子でつくる「わくわく水曜日」

守山市	活動名:吉身小学校地域学校協働本部	吉身小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:令和6年度 地域学校協働活動推進員等数:1人(兼務1人) ボランティア登録数:2人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・休み時間における児童の遊びの支援
 ※本校が委員会活動の児童中心に取り組む「わくわく水曜日」という昔遊びやユニバーサルスポーツを行う時間に地域の方に来てもらい、将棋と折り紙のやり方を教えていただいた。



【「わくわく水曜日」支援】

■ 実施に当たっての工夫

- ・自治会長会で事業のねらいや概要を伝え、協力を要請した。
- ・依頼事項を明確にして自治会長の協力のもと地元自治会にチラシなどを回覧した。
- ・公民館の担当者に学校の様子を見てもらう時間を取る等、連携を密にした。
- ・公民館の担当者に委員会活動で作成したグーグルのクラスルームへの参加をってもらう活動の進捗状況や児童が考える課題などの共有を行った。

■ 事業の成果

- ・ちらしの回覧から、ボランティア募集の応募があり、学校の活動支援に参画してもらうことができた。
- ・「わくわく水曜日」では、2学期に行った全6回に2名の地域の方が来ていただき、委員会の児童とその日の打合せから、場の準備、児童への声かけや見守り、後片づけ、次回の打合せなどを行っていただくことができた。
- ・休み時間の児童の見守り支援をしていただくことで、教員だけでは見えにくい子どもの様子を見てもらうことができた。
- ・「わくわく水曜日」の開催日は委員会児童と担当教員、地域のボランティアの方が中心に子どもの見守りを行うので、担任は授業準備や教育相談の時間をとることができた。
- ・人員不足の学校において、地域の方の支援は、職員にとっても大きい支えとなった。



【「わくわく水曜日」支援】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・毎回(6回)同じボランティアの方に学校に来てもらい、委員会活動を支援していただくことで、委員会の児童や遊びに来た児童にとって良い影響が多くあった。回数を重ねるごとにボランティアの方から「折り紙の担当の子は低学年の子にわかりやすいような声かけをしてくれていたよ。」など児童の様子を聞くことができた。しかしながら、ボランティアの方と事業の目的や毎回の児童の様子などを情報共有する時間は多くとれなかった。引き続き、情報共有の時間をどう確保していくかが今後の課題である。
- ・「わくわく水曜日」は折り紙や将棋以外にも、けん玉やこまなどの伝承遊びや、ユニバーサルスポーツのポッチャを行っているが、この遊びについてはまだ協力いただける地域の方が見つからないので、今後も地域のボランティアの方を募集したい。
- ・今年度は特別教室を使用して、「わくわく水曜日」を実施していたが、今後は余剰の教室の一つを「地域交流スペース」にして、地域の方と児童、教職員が交流できる空間にしていきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(地域連携担当教職員)

LOVE ものべ「学校愛、地域愛、家族愛」を育む取り組み

守山市	活動名：ものべ地域学校協働本部	物部小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:令和6年度 地域学校協働活動推進員等数:1人(ボランティア登録数:15人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

2年生、3年生の町探検や校区探検
 ビオトープボランティア
 花壇ボランティア
 読み聞かせボランティア

■ 実施に当たっての工夫

校長が自治会長会に出席し学校の運営方針「学校愛、地域愛、家族愛」について説明した。
 校長が学校の職員の働き方改革の方向性や推進の仕方について学校内で共有した。
 ・日程の調整や連絡を毎月配布する下校時刻表にこの事業の内容を記載するなど
 活動が持続するよう、気軽に参加できる仕組みづくりを検討した。

■ 事業の成果

子どもだけでは活動の難しかったものが保護者や地域の方の手が加わることでスムーズに進み、子どもたちに活動を実現できた実感が残った。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

事業を実施する体制づくりについて、窓口をどうするか、誰がどのように進めるかなどスタート地点にたどり着くまでに時間を要したため、関係者で話す機会を増やし、無理なく継続的に取組を進めていきたい。



【 花壇ボランティアの様子 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(地域連携担当教職員)

地域と学校が協力して育てる立入の子ども

守山市	活動名:立入が丘小学校地域学校協働本部	立入が丘小学校 学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:令和5年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:8人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

(1)家庭科の調理実習等支援

5年生や6年生の家庭科の実習(調理やミシン)の支援に入っていた。また、

(2)清掃活動支援

掃除の時間、教室や特別教室の清掃支援に入っていただき、児童とともに清掃活動に取り組んでいただいた。

(3)学校の特別教室を生かした講座開設について

冬期休業中にボランティアさんを講師とする講座を開設するため、現在協議中である。



【 家庭科調理実習の支援 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・事業のねらいを話し合い、目標をもって活動を行うことができたようにした。
- ・担当教員とボランティアとで事前の打合せを丁寧に行った。

■ 事業の成果

- ・ボランティアに来ていただいたことで、教員だけでは見えにくい子どもの様子を見ていただくことができ、子どもにとって良い影響が多くあった。
- ・大人の支援が増えたことで、子どもの主体的な学びにつながった。
- ・人員不足の学校において、地域の方の支援は大きい支えとなった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・子ども応援団に登録いただいているボランティアをアテンドする職員を教頭が兼務しているため業務過多になり、超過勤務につながった。
- ・行政担当者はチラシの作成と配付、ボランティア募集業務を担うが、この事業の核となる協働的活動推進者は学校が担うため、負担が大きい。



【 家庭科ミシン実習の支援 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(教頭)

小さいことから子どもとかかわり見守っていく。

守山市	活動名：守山中学校地域学校協働本部	守山中学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:令和6年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:1人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他(玉津公民館)

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

地域学区民のつどいへの生徒の参加
 学区民運動会への生徒の参加
 特別支援学級の畑作業へのボランティアによる支援

■ 実施に当たっての工夫

学校担当者と公民館担当者が定期的に話し合う機会をもち、公民館の事業と学校での学習でできることはないか検討した。公民館事業や学校の学習について可能な限り共有できるようにした。

■ 事業の成果

公民館担当者と学校担当者が話し合うことで、学校や公民館の現状への理解を深めることができた。その中で学校が重点的に必要としていることが明確になった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

公民館担当者と学校担当者が話し合う機会が増え、少しずつではあるが地域の様子が見えてきた部分もあるが、具体的に地域学校協働活動を進めていくことについては課題が残った。今後も話し合う機会を設け、まずは、できることを整理し、既存の公民館事業や学校の学習に地域の方にかかわっていただくとともに、協働してできることについても検討していく。



【学区民のつどいの様子】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(地域連携担当教職員)

互恵的な地域との連携を目指して

守山市	活動名 : 守山北中学校地域学校協働本部	守山北中学校	学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度: 令和6年度 地域学校協働活動推進員等数: 1人 ボランティア登録数: 20人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・河西学区の防災学習に生徒の代表が参加し地域住民とともに、避難所運営や防災食の調理訓練などを行った。
- ・中学校2年生の家庭科の調理実習の補助として、河西学区赤十字奉仕団が生徒支援をしていただき、きめ細やかな実習を行うことができた。



【 地域住民と防災について学ぶ 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・河西会館を訪問し、事業のねらいや概要を伝え、協力を要請した。
- ・ボランティアをする日を複数日設けることで、多くの地域住民の協力を得ることができた。

■ 事業の成果

- ・昼間人口に占める中学生の割合が高いことから、昼間の大規模災害発生時における防災活動において、即戦力として期待の持てる中学生の防災意識を高めることができ、次世代の防災リーダー育成を地域住民と共同して行うことができた。
- ・調理実習において、各班に地域の方の支援が入ることで、生徒に落ち着きが見られ、授業がスムーズに進行した。
- ・赤十字奉仕団の皆様が地域の生徒とかわかることで、喜びを感じてくださった。



【 調理実習の補助 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・公民館と連携して、中学生が地域のために協力し、地域住民が学校を支援するという互恵的な連携をすることができた。
- ・使っていない教室を、地域のサークルなどに利用してもらうことを考えたが、ニーズはあまりないように感じられた。
- ・今年度、動き出した活動を、来年度以降も継続していけるような体制を構築したい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(教頭)

地域とともに 地域に開かれた 学校づくり

守山市	活動名： 守山南中学校地域学校協働本部	守山南中学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:令和5年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数: 15人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他(地区会館)

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

本校の総合的な学習の時間では、1年次に「守山を知る学習」、2年次では「職場体験」、3年次では「より良い守山を提案する学習」に取り組んでいるため、地域で活動されている方や事業者の方々にお世話になっている。また、本校で教育実習を行った大学生についても、学習ボランティアや学校行事のサポーターとして活動してもらっている。

さらに今年度は、従来地区会館で行っていた「小津学区子どもの安全を守る会」を、本校を会場として実施し、地域の方々に学校見学の場を提供したことにより、学校を知ってもらう機会となった。

■ 実施に当たっての工夫

総合的な学習の時間や教育実習生による学習ボランティアなどは、従来から取り組んでいた内容である。「地域とともに 地域に開かれた」学校をめざすため、本年度は、まず地域の方々に学校の現状を知ってもらうため、地域の会議を、学校を会場に行った。この会議に参加される自治会長や民生・児童委員のみなさんなどに1時間かけて全校生徒の授業の様子などを見ていただき、実際の中学生の様子を知ってもらう機会となるようにした。



【 子どもの安全を守る会・授業参観 】

■ 事業の成果

本年度新たに取り組んだ「小津学区子どもの安全を守る会」の会場提供は、地域の方に、生徒の様子を知ってもらうだけでなく、学校の施設についても知ってもらうことができた。このことにより、今後も地域の行事等を学校を会場にしてもらうことで、学校に気楽な気持ちで出入りしてもらうことが可能となり、「地域とともに 地域に開かれた」学校づくりを進めるきっかけとなったと考える。



【 子どもの安全を守る会・会議の様子 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

中学校は、生徒の成長段階からも、地域の方と連携しにくいところがあると考えます。また、地域からは、中学生が地域行事に参加しないことについて苦情をいただくことがあります。このような地域と学校とのギャップをどのように埋めていくのかが大きな課題であると考えます。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

学校運営協議会の設置には至っていないが、今後はそのことも視野に入れ、地域との連携の在り方を模索していきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(教頭)

みんなで守ろう 明富中らしさを

守山市	活動名：明富中学校地域学校協働本部	明富中学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和6年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：5人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他[学校と地域の懇談会]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

・明富を語る会(6月18日)

明富中学校区の自治会長・公民館・学校で集まり、明富中学校の昨年度の取り組みを紹介した。また、明富中学校の現状や課題について情報共有し、意見交換を行った。



・地域奉仕活動(7～8月)

おもに夏休み期間を利用し、地域の奉仕活動に生徒が参加をした。地域のごみ拾いや除草作業、カーブミラーの清掃作業などを地区別に行った。

・愛校活動(9月1日) ※台風接近のため中止

生徒・保護者・教員・地域の方で学校の除草作業を行う予定であったが、台風が接近していたため中止となった。

■ 実施に当たっての工夫

地域別の奉仕活動では、地域の実情に合わせて、清掃活動以外に通学路の交通標識や消火栓操法訓練、AED講習なども活動も取り入れ実施した。

■ 事業の成果

「明富を語る会」は、学校と地域の連携を深めることができ、奉仕活動などをおして、子どもと地域のつながりを深めることができた。愛校活動は中止になったが、実施されれば、自治会・保護者の方にも協力していただき、学校・保護者・子ども・地域で明富中学校区のための活動を行うことができた。



■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

地域の方を学校に招いて子どもと交流していただいたり、子どもに指導していただいたりする機会を設けることができなかつたので今後はそういった機会も作っていきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(地域連携担当教職員)